

## 2007 年度 小委員会活動成果報告

(2008 年 2 月 8 日作成)

小委員会名	高強度鉄筋コンクリート構造小委員会	主 査 名：稲井栄一 就任年月：2007 年 4 月																
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鉄筋コンクリート構造運営委員会)	委員長名：和田 章 主 査 名：平石久廣																
設 置 期 間	2004 年 4 月 ~ 2008 年 3 月																	
設 置 目 的 各年度活動計画 (簡条書き)	<p>本小委員会は、超高強度コンクリートに関する最新の技術を取りまとめ、1991 年版「高強度コンクリートの技術の現状」の改訂を行うことを目的としている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2004 年度 超高強度コンクリートに関する調査研究</li> <li>・ 2005 年度 超高強度コンクリートに関する調査研究</li> <li>・ 2006 年度 改訂案作成および原稿執筆</li> <li>・ 2007 年度 成果の中間報告(大会 P D の開催) 原稿完成</li> </ul>																	
委員構成 (委員名(所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">主査 稲井栄一(山口大学)</td> <td style="width: 50%;">幹事 津田和明(大林組技術研究所)</td> </tr> <tr> <td>幹事 丸田誠(鹿島建設技術研究所)</td> <td>委員 和泉信之(戸田建設構造設計部)</td> </tr> <tr> <td>委員 柏崎隆志(千葉大学)</td> <td>委員 木村匡(U R 都市機構)</td> </tr> <tr> <td>委員 木村秀樹(竹中工務店技術研究所)</td> <td>委員 熊谷仁志(清水建設技術研究所)</td> </tr> <tr> <td>委員 小室努(大成建設設計本部構造 G)</td> <td>委員 勅使川原正臣(名古屋大学)</td> </tr> <tr> <td>委員 寺岡勝(呉工業高等専門学校)</td> <td>委員 成瀬忠(前田建設工業技術研究所)</td> </tr> <tr> <td>委員 西山峰広(京都大学)</td> <td>委員 濱田真(熊谷組技術研究所)</td> </tr> <tr> <td>委員 森本敏幸(銭高組技術研究所)</td> <td></td> </tr> </table>		主査 稲井栄一(山口大学)	幹事 津田和明(大林組技術研究所)	幹事 丸田誠(鹿島建設技術研究所)	委員 和泉信之(戸田建設構造設計部)	委員 柏崎隆志(千葉大学)	委員 木村匡(U R 都市機構)	委員 木村秀樹(竹中工務店技術研究所)	委員 熊谷仁志(清水建設技術研究所)	委員 小室努(大成建設設計本部構造 G)	委員 勅使川原正臣(名古屋大学)	委員 寺岡勝(呉工業高等専門学校)	委員 成瀬忠(前田建設工業技術研究所)	委員 西山峰広(京都大学)	委員 濱田真(熊谷組技術研究所)	委員 森本敏幸(銭高組技術研究所)	
主査 稲井栄一(山口大学)	幹事 津田和明(大林組技術研究所)																	
幹事 丸田誠(鹿島建設技術研究所)	委員 和泉信之(戸田建設構造設計部)																	
委員 柏崎隆志(千葉大学)	委員 木村匡(U R 都市機構)																	
委員 木村秀樹(竹中工務店技術研究所)	委員 熊谷仁志(清水建設技術研究所)																	
委員 小室努(大成建設設計本部構造 G)	委員 勅使川原正臣(名古屋大学)																	
委員 寺岡勝(呉工業高等専門学校)	委員 成瀬忠(前田建設工業技術研究所)																	
委員 西山峰広(京都大学)	委員 濱田真(熊谷組技術研究所)																	
委員 森本敏幸(銭高組技術研究所)																		
設置 WG (WG 名：目的)	高強度コンクリート構造の現状調査WG： 超高強度コンクリートに関する最新のデータの収集																	
2007 年度予算	310,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s9/index.html">http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s9/index.html</a>																

項 目	自己評価
委員会開催数	7 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物	
大会研究集会	1.(名称)2007 年度大会 P D「高強度コンクリート技術の現状」 (資料名)高強度コンクリートの技術の現状 参加者数約 350 名
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 本年度は大会で P D を開催し、本の内容に関する会員の要望を収集した。 2. 原稿は本年度末までに完成する。ただし、構造委員会の査読を経て、出版は 2009 年 6 月の予定。
委員会活動の問題点 ・課題	